

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ



株 主 通 信

2018年度 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

Contents

ページ

- 1 グループ経営理念
- 2 T&D保険グループのあゆみ
- 3 トップメッセージ
- 5 特集:新中期経営計画
- 8 グループ各社の主な商品・サービス
- 11 T&D NEWS
- 12 業績ハイライト

株式会社 T&Dホールディングス

15th
Anniversary

証券コード: 8795

上記の写真は、2018年に実施した「Try & Discover フォトコンテスト」の入賞作品になります。

グループ経営理念

Try & Discover (挑戦と発見) による
価値の創造を通じて、
人と社会に貢献するグループを目指します。

グループ経営ビジョン

〈お客さまからの視点〉

私たちは、最優の商品・サービスの提供により、
お客さま満足度のトップを目指します。

〈株主・投資家・市場からの視点〉

私たちは、成長に向けた新たな挑戦により、
安定的・持続的に企業価値を向上させ、
確固たる存在感のある保険グループを
目指します。

グループブランドメッセージ

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

新中期経営計画のスタートを機にT&D保険グループが
目指す姿をこのブランドメッセージに込めました。
グループ役員一人ひとりが“共有価値の創造”を通じた
新たな成長へ挑戦していきます。

T&D 保険グループ T&Dホールディング

T&Dフィナンシャル生命

2001年 T&D保険グループ入り
T&Dフィナンシャル生命(旧東京生命)
がグループ入りし業務開始



太陽生命旧本社(東京都)
1930年竣工



1893年 創業



1902年 創業



大同生命旧肥後橋本社
(大阪府) 1925年竣工

2002年
大同生命が相互会社から
株式会社に組織変更



T&Dアセットマネジメント
2002年
グループの資産
運用会社を集約

1999年
T&D保険グループ発足
太陽生命と大同生命が全
面的な業務提携を発表、
グループ名称を「T&D保険
グループ」に決定

プのあゆみ

グス設立15周年

15th
Anniversary

 ペット&ファミリー
損害保険株式会社

2019年

損害保険会社に移行



2003年

太陽生命が相互会社から
株式会社に組織変更



2007年

ペット保険会社を子会社化
ペット&ファミリー少額短期保険

2016年

グループ3社(T&Dホールディングス、
太陽生命、大同生命)の本社機能を
東京都中央区日本橋に移転

2019年～
グループ中期経営計画
Try & Discover 2021
～共有価値の創造～

2016年～
グループ中期経営計画
Try & Discover for the Next Stage
～成長領域拡大の3年～

2014年～
グループ中期経営計画
～基盤強化期間～

株式会社 T&Dホールディングス

2004年 設立・上場



日本で初めて生命保険事業を中核とする
持株会社として設立・上場

トップメッセージ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今後もT&D保険グループは、社会と価値を共有し、持続的に成長する保険グループを目指し、取り組んでまいります。

2019年6月

株式会社T&Dホールディングス

代表取締役社長 上原弘久



Q1 前中期経営計画の状況について教えてください。

A 前中期経営計画期間(2016-2018年度)においては、標準生命表や標準利率の改定、マイナス金利導入後の超低金利の継続等、生命保険業界を取り巻く環境は大きく変化しました。

そのようななかで、T&D保険グループの生命保険各社は、独自性・専門性を最大限発揮し、機動的かつ柔軟に商品・サービス・チャネル戦略を展開してまいりました。また、シニアマーケットへの取組み強化等を実施するとともに、就業不能保障等の第

三分野への「商品ポートフォリオの変革」を実現いたしました。

その結果、主要経営目標である新契約価値は目標を達成、グループ企業価値を表すEVと実質利益は概ね目標通りの進捗となりました。(P.12参照)

一方、足元では財務会計上の利益が減少するなど、課題も生じています。こうした経営課題に対処すべく新中期経営計画を策定し、2019年度からはその実践に取り組んでまいります。

Q2 ESG^{*}に関する取組みについて教えてください。

A 相互扶助の理念を基礎とする生命保険事業を中核とする当社グループにとって、「人と社会に貢献すること」は最も基本的な理念です。社会的課題に事業を通じて向き合い、持続可能な社会の発展に貢献していくことは、生命保険事業の長い歴史を持つグループ各社のDNAの中に受け継がれてきた基本的な使命と考えております。

国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に向けて、企業に期待される役割は大きなものがあります。当社グループは、持続可能な成長を実現するための国連と企業の

協力の枠組みである「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」や、ESGを考慮した投資行動を促す行動規範である「責任投資原則(PRI)」に賛同しております。共有価値の創造を通じ、持続可能な社会の実現に引き続き取り組んでまいります。



* ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ったものです。企業の持続的な成長には、ESGの3つの観点が必要だという考え方が、広く受け入れられるようになっています。

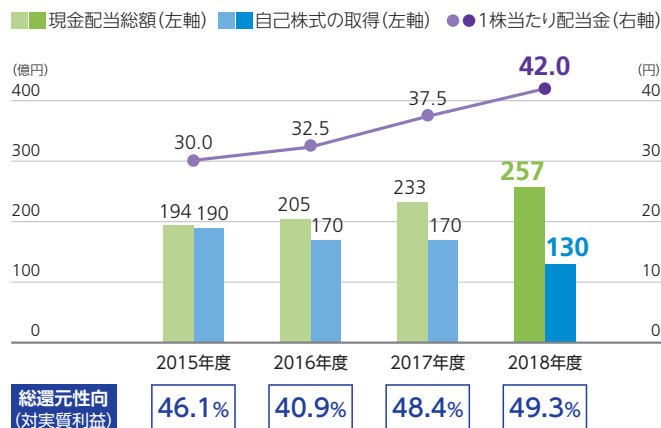
Q3 株主還元(配当)について教えてください。

A 当社及び当社グループ会社の経営の健全性維持に留意し、グループとして必要な内部留保を確保したうえで株主価値の向上に取り組む、安定的な利益配分を実施していくことを基本方針としております。

当方針に基づき、2018年度の年間配当は1株につき42円、これは2017年度の1株につき37円50銭に比べ、4円50銭の増配となります。また、総額約130億円の自己株式取得を実施いたします。(取得期間: 2019年5~8月)

なお、2019年度の年間配当予想は1株につき44円(うち中間配当は22円)とし、5期連続の増配を予定しております。

株主還元実績



T&D保険グループ 中期経営計画 (2019-2021年度)

「Try & Discover 2021 ～共有価値の創造～」

T&D保険グループは、2019年4月にグループ組成から20周年、T&Dホールディングス設立から15周年という節目の年を迎えております。この4月からスタートした中期経営計画「Try & Discover 2021～共有価値の創造～」について説明いたします。

Q1 新中期経営計画の概要は？

新中期経営計画では、時代の変化を先取りし、新たなステージへと進化する「変革と実行」の3年間と位置づけ、T&D保険グループの強みを活かした「共有価値の創造」を通じ、「コ

アビジネスを強化」するとともに、これまでの延長線上にない新たな挑戦により、「事業ポートフォリオの多様化」を実現してまいります。

名称	・ 中期経営計画「 Try & Discover 2021 ～共有価値の創造～」
計画期間	・ 2019年4月～2022年3月(3年間)
全体方針	・ 「コアビジネスの強化」と「事業ポートフォリオの多様化」を通じ、絶えず変化する人と社会の課題の解決に貢献することで、社会とともに成長する保険グループをめざす

〔グループ連結の中計目標〕

中計目標	経済価値	新契約価値 ^{※1}	・ 2021年度: 1,700億円 以上 (コアROEV ^{※2} : 3年を通じて年5.0%以上)
	財務会計	当期純利益	・ 2021年度: 2018年度水準(730億円)以上

※1: P.12用語解説参照

※2: (新契約価値+リスクフリーレート部分の期待収益)/EVの平均残高

Q2 新中期経営計画で掲げる「共有価値の創造」とは？

T&D保険グループは、『Try & Discover (挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。』というグループ経営理念のもと、絶えず変化する人と社会の課題の解決に貢献することで、社会とともに持続的に成長する企業グループを目指しております。

新中期経営計画では、この経営理念の実践を力強く推進し、グループ各社が特化する市場において「健康寿命の延伸」や「中小企業の事業継続」等の社会的課題の解決に一層お応えすることで、「社会にとっての価値」と「企業にとっての価値」の両方を創造する『共有価値の創造』を進めてまいります。

共有価値の創造

絶えず変化する人と社会の課題(社会的課題)は、当社グループにとっては挑戦すべきビジネスチャンス
社会的課題の解決という視点から、事業を通じて、①社会にとっての価値と、②企業にとっての価値の両方を創造

T&D保険グループの強みを活かした「共有価値の創造」の主なテーマ

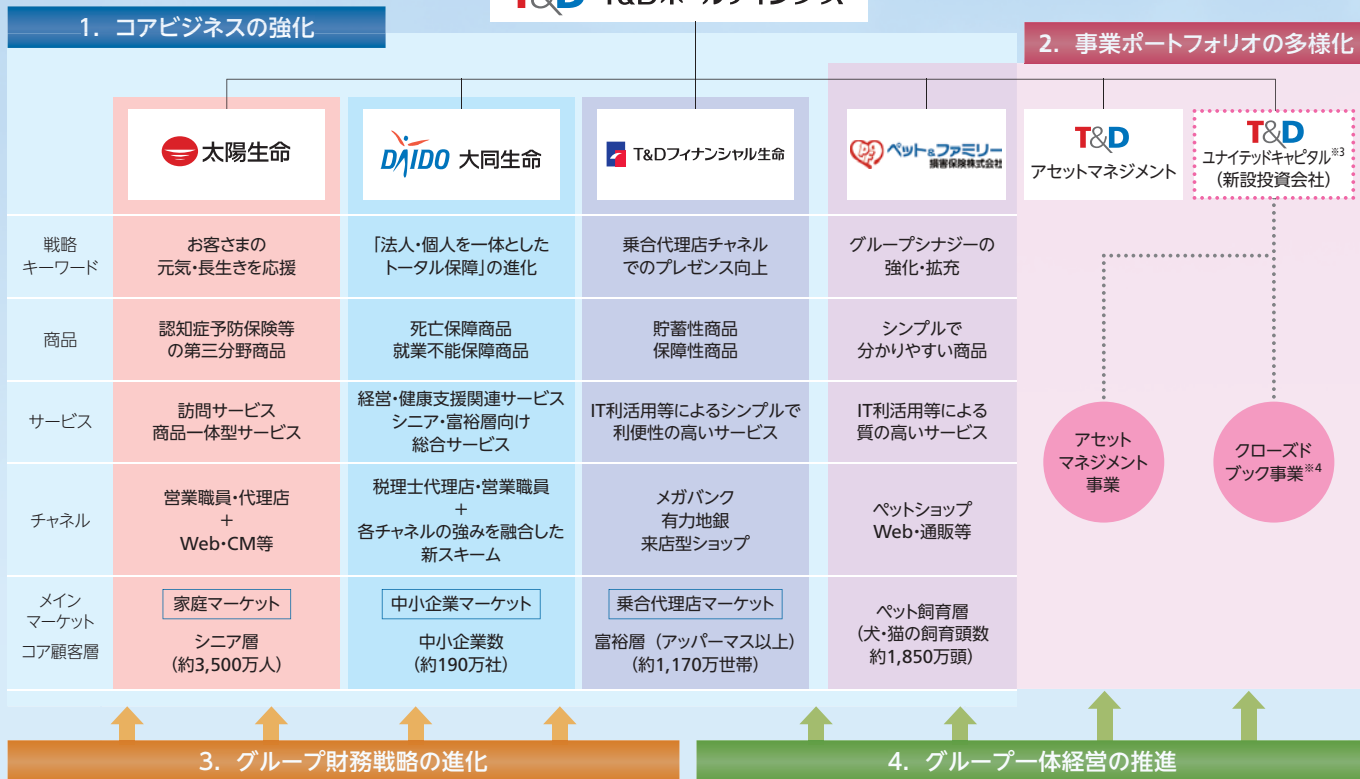


Q3 新中期経営計画の基本戦略は？

新中期経営計画は、4つの基本戦略から構成しております。
1点目は、T&D保険グループ各社(主に各生命保険会社)の強みを活かした特化戦略の追求による「コアビジネスの強化」、
2点目は、国内生命保険事業と親和性の高い事業領域への投資等を通じた「事業ポートフォリオの多様化」です。そして、

その2つの成長戦略の実現を支える戦略として、資本効率のさらなる向上を目指した「グループ財務戦略の進化」と、
グループ経営資源の効果的・効率的な活用を実践するための「グループ一体経営の推進」を基本戦略としております。

T&D T&Dホールディングス



※3: T&Dユナイテッドキャピタルは、グループの経営資源やノウハウを集約して戦略的な投資を推進することを目的に、2019年7月に設立予定

※4: 保険会社が販売停止した商品の保有契約ブロック(クローズドブック)を取得・集約し、バリューアップを通じて収益化するビジネスモデル

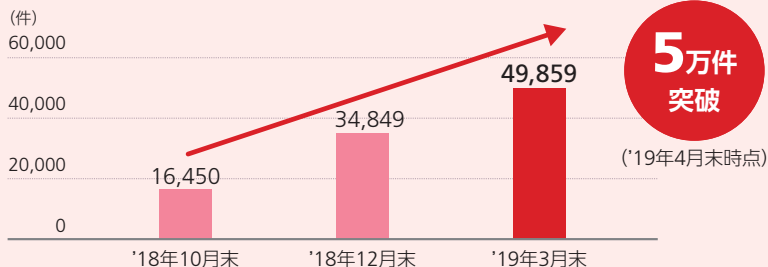
◆◆◆ グループ各社の主な商品・サービス



— 時代の変化を先取りした商品開発 — 『ひまわり認知症予防保険』発売

2018年10月より、認知症の予防をサポートする『ひまわり認知症予防保険』を発売いたしました。『ひまわり認知症予防保険』は「世の中から認知症をなくしたい」というコンセプトのもと、発売以降ご好評いただいた『ひまわり認知症治療保険』の特長である「認知症になった場合の保障」に加え、「認知症にならないための予防」の段階からお客さまをサポートする保険になります。

●『ひまわり認知症予防保険』の累計販売件数



『ひまわり認知症治療保険』と「かけつけ隊サービス」*による商品とサービスの一体的な提供は、2017年には公益社団法人日本マーケティング協会主催の「第9回 日本マーケティング大賞」において「日本マーケティング大賞 奨励賞」を受賞するなど高い評価をいただいております。

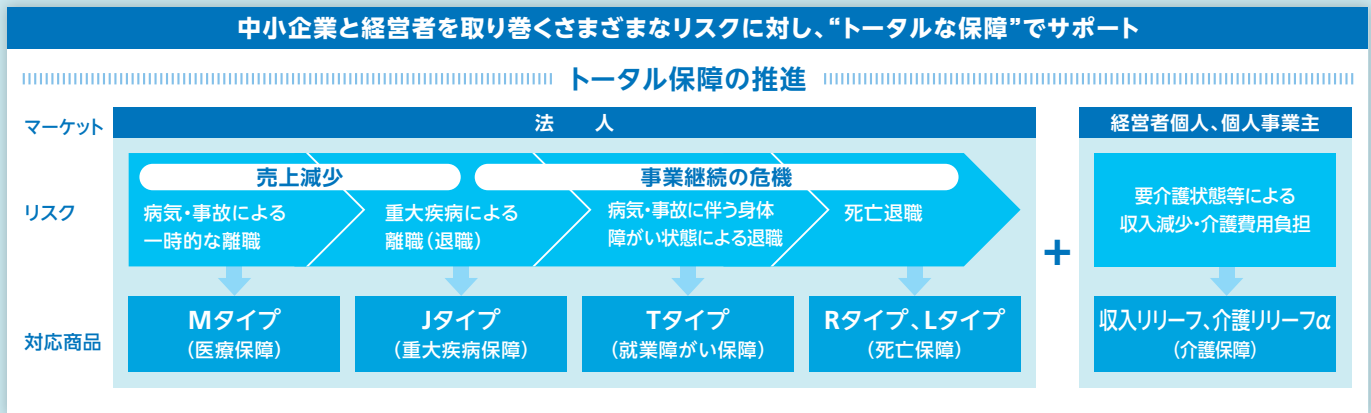
* 専門知識を有する内務職員が直接お客さまやご家族を訪問し、給付金等の請求手続きをサポートするサービスになります。



ご契約の1年後から2年ごとにお受け取りいただける「予防給付金」を利用して、簡単な血液検査でMCI（軽度認知障害）のリスクを判定する「MCIスクリーニング検査」等の認知症予防サービスをご利用いただけます。

DAIDO 大同生命

経営者の高齢化や現役期間の長期化を踏まえ、法人のお客さまへの死亡保障・就業不能保障の推進と、経営者の個人保障の推進による「法人・個人を一体としたトータル保障のご提案」を一層進めることで、「コアマーケットのさらなる深耕」に取り組んでおります。



提供する主な付帯サービス

生命保険商品に加え、健康経営や経営支援に資する付帯サービスを取り揃え、商品・サービスを一体として提供することにより、中小企業の経営課題解決にお応えしてまいります。

健康支援
サービス

「DAIDO KENCO アクション」の推進
Webサービス「KENCO SUPPORT PROGRAM」の提供

中小企業による「健康経営®」の実践を支援することで、中小企業とそこに働く人々が生き活きと活躍できる社会づくりへの貢献を目指しております。



経営支援
サービス

従業員を大切にしている経営者の想いにお応えするため
「安否確認システム」の提供開始 (2019年4月開始)

大地震等の災害発生時に、経営者が従業員の安否確認を確実に迅速に実施できる「安否確認システム」を提供しております。今後は、お客さまの安否確認結果を災害発生時の保険金等の請求勸奨業務といった本業へ活用することも検討してまいります。

ニーズに応じた商品を販売

ゆとりあるセカンドライフのための生活資金の準備・遺族補償等のニーズに応える資産形成商品や、お客さまの家計見直しニーズ・保障見直しニーズに応える保障性商品をお届けしております。

『みんなにやさしい終身保険』リニューアル

2018年10月より、従来の円貨による死亡保障に加え、円貨と外貨を組み入れることで為替変動の影響を抑制しつつ死亡保障を増やすことも期待できる業界初の「通貨分散コース」を追加しました。



『家計にやさしい終身医療』リニューアル

2019年1月より、従来の入院や生活習慣病、先進医療への備えに加え、三大疾病保障をさらに充実しました。また特約等の拡充や割安な保険料率を設定することで、より幅広いニーズにお応えできる商品へと進化させました。



T&Dアセットマネジメント株式会社

『ロボット戦略II 世界成長ファンド』の動画を公開中

T&D保険グループの資産運用会社として、特長のある運用商品やサービスを提案・提供することにより、お客さまの資産形成に寄与できるよう努めております。

2018年7月に設定した『ロボット戦略II 世界成長ファンド』について、お客さまに商品の仕組みをご理解いただくため、運用手法の特長を分かりやすく動画にまとめホームページに掲載しました。

また投資先企業の選定にあたり、ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素を取り入れることにより、持続可能な社会形成への貢献も目指しております。



T&Dアセットマネジメントホームページ
(<https://www.tdasset.co.jp/>)



ペット&ファミリー 損害保険株式会社

損害保険事業の免許を取得

2019年4月1日に、「ペット&ファミリー少額短期保険株式会社」は、損害保険事業の免許を取得し、「ペット&ファミリー損害保険株式会社」として業務を開始しました。

同社は2006年11月に日本初のペット保険専門の少額短期保険業者として登録後、2007年1月にT&D保険グループの一員となり、ペット保険を通じてお客さまにご安心を提供してまいりました。

今後も、家族の一員であるペットと飼い主がともに健康で潤いのある生活を過ごせるよう、より良い保険商品の提供とサービスの向上に努めてまいります。



ペット&ファミリー損害保険ホームページ
(<https://www.petfamilyins.co.jp/>)

当社グループは、幅広い分野で評価され、さまざまな受賞・表彰を受けております。

受賞・表彰	
(経済産業省) 太陽生命・大同生命・T&Dフィナンシャル生命 「健康経営優良法人ホワイト500」に認定	(東京都) 大同生命 「平成30年度東京都スポーツ推進モデル企業」に認定
(消費者関連専門家会議) 太陽生命 「第3回 ACAP消費者志向活動表彰」を受賞	(ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会) 太陽生命 「UCDAアワード2018 特別賞」を受賞
(企業情報化協会) 大同生命 「平成30年度カスタマーサポート表彰制度」『優秀賞』を受賞	(レジリエンスジャパン推進協議会) 大同生命 「国土強靱化貢献団体認証(レジリエンス認証)」を取得



「第1回 プラチナキャリア・アワード」優秀賞の受賞

2019年5月に、当社は、東洋経済新報社による「第1回 プラチナキャリア・アワード(後援: 内閣官房、厚生労働省)」において優秀賞を受賞いたしました。当アワードは、企業における社員のキャリア形成・発揮をサポートする取組みを、「長期的視点」「自律的な学び」「社会への貢献」の3つの特徴から評価するものになります。

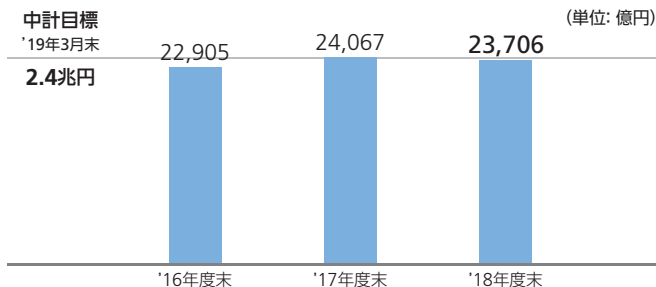
当社グループでは、これまでにシニア層が継続してキャリアアップを図ることができる仕組みや、社内公募による自律的なキャリアアップの支援など、従業員のキャリア形成・発揮に向けた各種の取組みを導入しており、これらの取組みが受賞につながったものと認識しております。今後も、従業員一人ひとりが自らの能力を活かすことができる環境の構築に取り組むことで、当社グループの経営理念である、Try & Discover(挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指してまいります。



業績ハイライト (前中期経営計画 主要業績指標)

Group MCEV

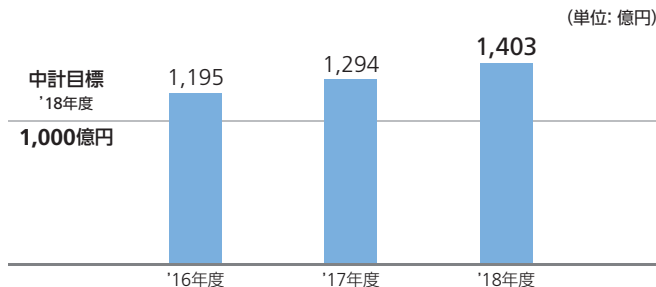
2兆**3,706**億円 前年度末比 \triangle **1.5** %



2018年度末のGroup MCEVは、新契約価値の積み上げがあったものの、国内金利の低下、国内株価の下落等により前年度末から1.5%減少し、2兆3,706億円となりました。

新契約価値

1,403億円 前年度比 **+8.4** %

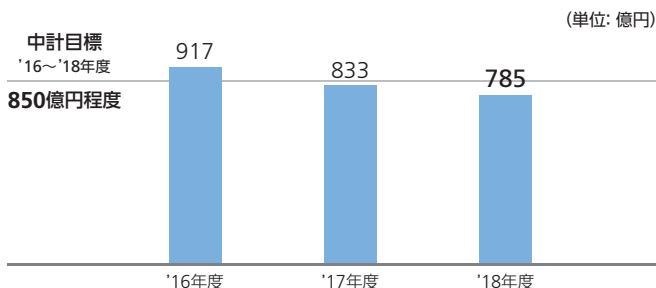


2018年度の新契約価値は、2018年4月の一部商品での保険料率引下げや国内金利の低下等の減少要因があったものの、個人定期保険や介護保障商品の販売増加で新契約業績が堅調に推移したこと等により、前年度から8.4%増加し、1,403億円となりました。

実質利益

785億円 前年度比 \triangle **5.7** %

3カ年平均
845億円



実質利益とは、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過する額(税引後)を加算して算出したものになります。2018年度は、利息及び配当金等収入の増加等があったものの、為替ヘッジコスト上昇等による金融派生商品費用の増加等により、前年度から5.7%減少し、785億円となりました。

用語解説

MCEV

EVとは、生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つで、株主のみならず、帰属すると考えられる貸借対照表から計算される「修正純資産」と保有契約から計算される「保有契約価値」を合計したものになります。なお、MCEVとは、金融市場で取引される金融商品の価格と整合的に評価したEVとなります。

新契約価値

1年間に販売した保険契約(転換契約を含む)から将来生ずる、株主のみならず、分配可能な利益を評価日における現在価値に換算したものです。

業績ハイライト

T&Dホールディングス

- ・新契約年換算保険料は、個人定期保険や介護保障商品の販売増加等により前年度から32.0%増加し、1,588億円となりました。第三分野の新契約年換算保険料についても、選択緩和型商品や就業不能保障商品、介護保障商品等の販売増加により、前年度から53.7%増加し589億円となりました。

(単位: 億円)

	2017年度 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで	2018年度 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
契約業績(生命保険会社3社合算)		
新契約年換算保険料	1,203	1,588
第三分野の新契約年換算保険料	383	589
保有契約年換算保険料	15,060	15,495
第三分野の保有契約年換算保険料	2,119	2,510
新契約高*	72,730	99,857
保有契約高*	660,107	692,646
損益関係		
経常収益	19,283	21,401
保険料等収入	14,837	16,761
資産運用収益	3,727	3,939
その他経常収益	718	700
経常費用	17,718	19,932
保険金等支払金	11,461	11,416
責任準備金等繰入額	2,628	4,696
資産運用費用	962	1,122
事業費	2,023	2,015
その他経常費用	641	680
経常利益	1,564	1,469
親会社株主に帰属する当期純利益	775	728
その他指標		
連結ソルベンシー・マージン比率	1,061.8%	1,093.1%
Group MCEV	24,067	23,706

*新契約高、保有契約高は、個人保険、個人年金保険の合計に、大同生命の「Iタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額、及び「介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)」[介護定期保険(無配当介護保障定期保険)]の介護保険金額を加算しています。

格付け(2019年5月15日時点)

日本格付研究所(JCR) 長期発行体格付 **AA-**

業績ハイライト

子会社の状況

太陽生命

- ・第三分野の新契約年換算保険料は、2018年4月より発売した「働けなくなったときの保険(I型)」に加え、10月より発売した「ひまわり認知症予防保険」の販売が好調だったこと等により、前年度から22.9%増加しました。
- ・MCEVは好調な契約業績等を背景に、前年度末から311億円増加しました。

(単位: 億円)

	2017年度 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで	2018年度 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	274	386
第三分野の新契約年換算保険料	133	163
保有契約年換算保険料	6,184	6,139
第三分野の保有契約年換算保険料	1,057	1,107
新契約高	16,867	11,966
保有契約高	211,544	199,456
損益関係		
保険料等収入	5,119	7,151
保険金等支払金	5,227	5,214
経常利益	627	541
当期純利益	304	255
その他指標		
基礎利益	485	518
順ざや額	116	196
ソルベンシー・マージン比率	835.1%	849.7%
MCEV	8,250	8,562

格付け(2019年5月15日時点)

格付投資情報センター(R&I)

保険金支払能力

AA-

日本格付研究所(JCR)

保険金支払能力格付

AA-

スタンダード&プアーズ(S&P)

保険財務力格付け

A

- ・新契約高は、就業不能・介護保障商品の販売増加や2018年4月の料率改定による死亡保障商品の販売増加を主に、前年度から62.0%増加しました。
- ・当期純利益は、就業不能・介護保障商品の販売増加に伴い、責任準備金等繰入額が増加したものの、一般勘定運用収支が増加したことから、前年度より2.1%増加しました。

(単位: 億円)

	2017年度 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで	2018年度 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	784	1,086
第三分野の新契約年換算保険料	248	423
保有契約年換算保険料	7,716	8,203
第三分野の保有契約年換算保険料	1,036	1,376
新契約高	52,314	84,748
就業不能保障商品・介護保障商品の新契約高	26,476	52,995
保有契約高	428,035	471,460
就業不能保障商品・介護保障商品の保有契約高	56,529	103,879
損益関係		
保険料等収入	7,908	8,280
保険金等支払金	4,963	5,105
経常利益	893	892
当期純利益	445	455
その他指標		
基礎利益	1,007	992
順ざや額	333	367
ソルベンシー・マージン比率	1,206.2%	1,271.9%
MCEV	14,732	14,177

格付け(2019年5月15日時点)

 格付投資情報センター
(R&I)

保険金支払能力

AA-

日本格付研究所(JCR)

保険金支払能力格付

AA-

 スタンダード&
プアーズ(S&P)

保険財務力格付け

A

- ・新契約高は、平準払商品が前年度を上回った一方、一時払商品が前年度を下回ったことにより、全体では前年度から405億円減少しました。
- ・MCEVは、海外金利の低下等により、前年度末から40億円減少しました。

(単位: 億円)

	2017年度 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで	2018年度 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	144	115
第三分野の新契約年換算保険料	1	2
保有契約年換算保険料	1,160	1,152
第三分野の保有契約年換算保険料	25	25
新契約高	3,547	3,141
平準払商品の新契約高	1,896	1,963
保有契約高	20,527	21,729
損益関係		
保険料等収入	1,764	1,278
保険金等支払金	1,249	1,068
経常利益	25	20
当期純利益	15	10
その他指標		
基礎利益	△8	△14
順ざや額	△25	△20
ソルベンシー・マージン比率	1,258.3%	1,101.7%
MCEV	1,026	985

格付け(2019年5月15日時点)

 格付投資情報センター
(R&I)

保険金支払能力

AA-

日本格付研究所(JCR)

保険金支払能力格付

AA-

会社概要 (2019年3月31日現在)

名称(商号) 株式会社T&Dホールディングス
所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
代表電話 03-3272-6110
設立時期 2004年4月1日
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会において権利を行使できる株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載・記録された株主といたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座 東京都府中市日鋼町1-1
口座管理機関
○テレホンセンター
TEL 0120-232-711
(土・日・祝祭日等を除く9:00~17:00)
○郵送先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

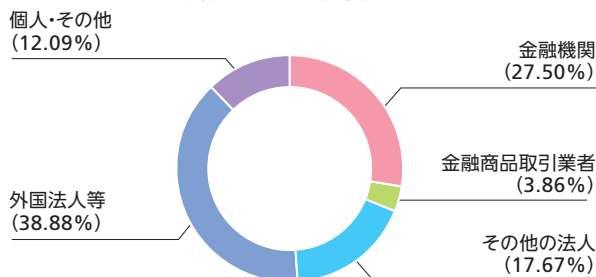
株式の状況 (2019年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 1,932,000千株
発行済株式の総数 655,000千株
株主数 224,311名

株式分布状況

所有者別株式分布状況



Try & Discover フォトコンテスト2019の実施 <応募期間 2019年7月1日~10月1日>

2018年、T&D保険グループをもっと知っていただくために実施したフォトコンテストには、2万点以上の素晴らしい作品をご応募いただきました。2019年も実施いたしますので、株主のみならず皆さまもぜひご応募ください。



上記及び表紙の写真は2018年に開催したフォトコンテストの入賞作品になります。

【コンテスト概要】

T&D保険グループの経営理念のキーワード
「Try & Discover (挑戦と発見)」をテーマとしています。

Try部門	Discover部門
あなたのTry、家族のTry、ペットのTry。何かに挑む様子を写した写真をご応募ください。	日常は小さな発見(Discover)にあふれています。そんな日常の心が動かされた瞬間をご応募ください。

入賞された方には、旅行券等の賞品をご用意しております。

詳細はこちらから

<https://td-holdings.tokyoameraclub.com/contest2019/>



本紙は、植物油インキを使用しております。